

お薬の効果確認シート

お薬を服用して 変わったことはありますか



監修：大分大学総合診療・総合内科学講座 診療教授 吉岩 あおい 先生



第一三共工スファ株式会社

アルツハイマー型認知症の治療における 認知症治療薬の効果確認の意義

監修：大分大学総合診療・総合内科学講座 診療教授 吉岩 あおい 先生

認知症治療薬により認知機能障害の進行抑制を図る上では、忍容性が認められる限り服薬を継続することが重要です。

そのためには、介護をされている方が認知症の方の服薬開始後の状態の変化を捉え、治療による効果を感じていただくことも大切となります。

そこで、認知症治療薬による治療の効果を確認することを目的に「お薬の効果確認シート」を作成しました。

認知症治療薬の服薬開始後の状態の変化を介護をされている方にチェックしていただき、治療効果を共有することが、できる限り長く服薬を継続していただくことに繋がると考えます。

認知症の方がその人らしく、住み慣れた地域のよい環境で、より長く暮らし続けることができるためにも、「お薬の効果確認シート」を是非ご活用いただければ幸いです。

「お薬の効果確認シート」の使い方

認知症治療薬の服薬後に、介護をされている方が認知症の方のご家庭などでの状態を確認し、下記に当てはまることがあれば、チェックしてください。

(例)



笑顔が増えた



会話がかみあうことが
増えた



おだやかになった



うろろろするなど
落ち着きのない行動が
減った



言葉が
できるようになった



夜眠れる日が
増えた



周辺に関心を
示すことが増えた



呼びかけに
反応することが
増えた



簡単な
家事をすることが
増えた



お薬の効果確認シート

記入日 年 月 日

お薬を服用して 変わったことはありませんか

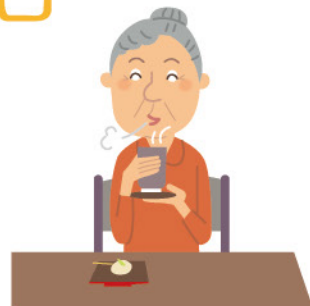
監修：大分大学総合診療・総合内科学講座 診療教授 吉岩 あおい 先生



笑顔が増えた



会話がかみあうことが
増えた



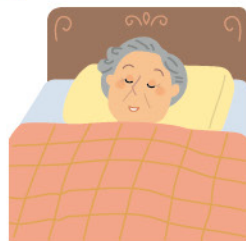
おだやかになった



うろうろするなど
落ち着きのない行動が
減った



言葉が
でるようになった



夜眠れる日が
増えた



周辺に関心を
示すことが増えた



呼びかけに
反応することが
増えた



簡単な
家事をすることが
増えた

